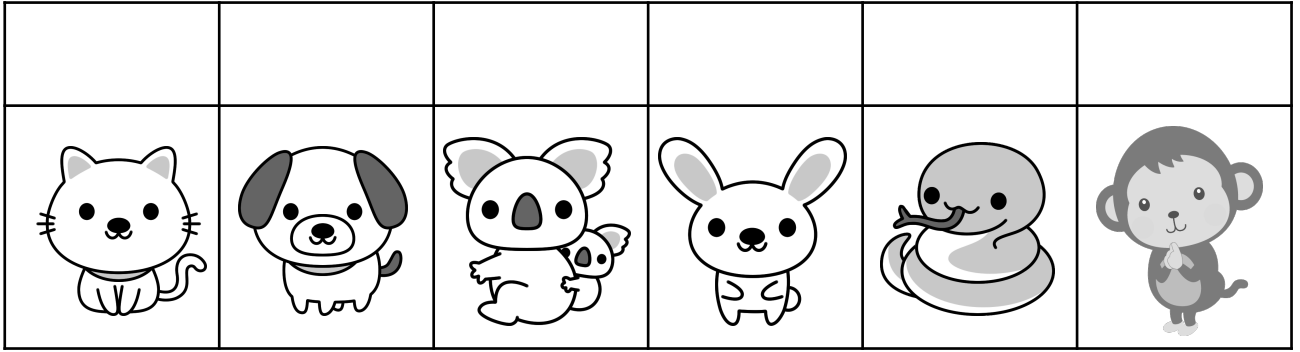


Unit4 「I like」ゲーム

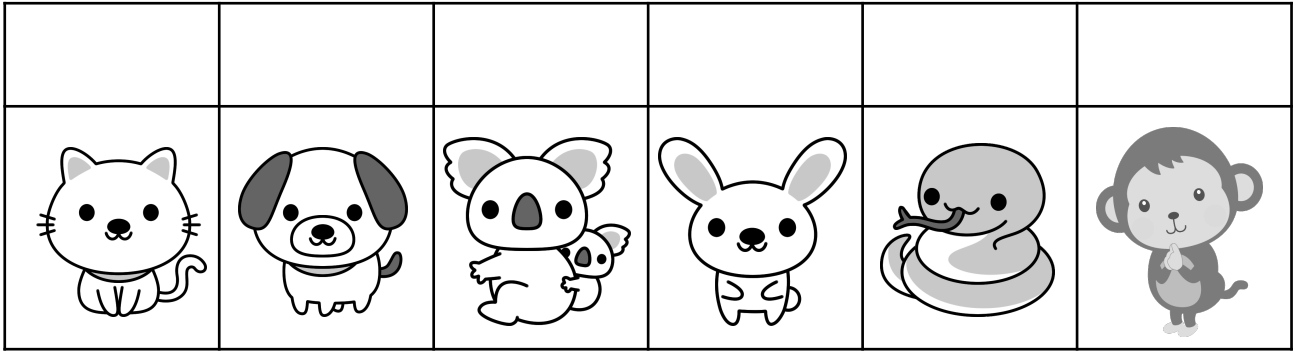
とく点カード

Name _____



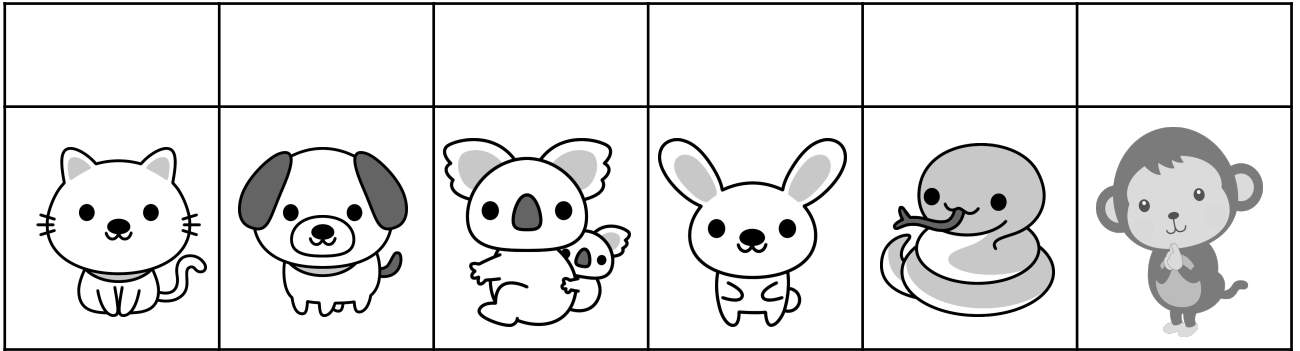
とく点カード

Name _____



とく点カード

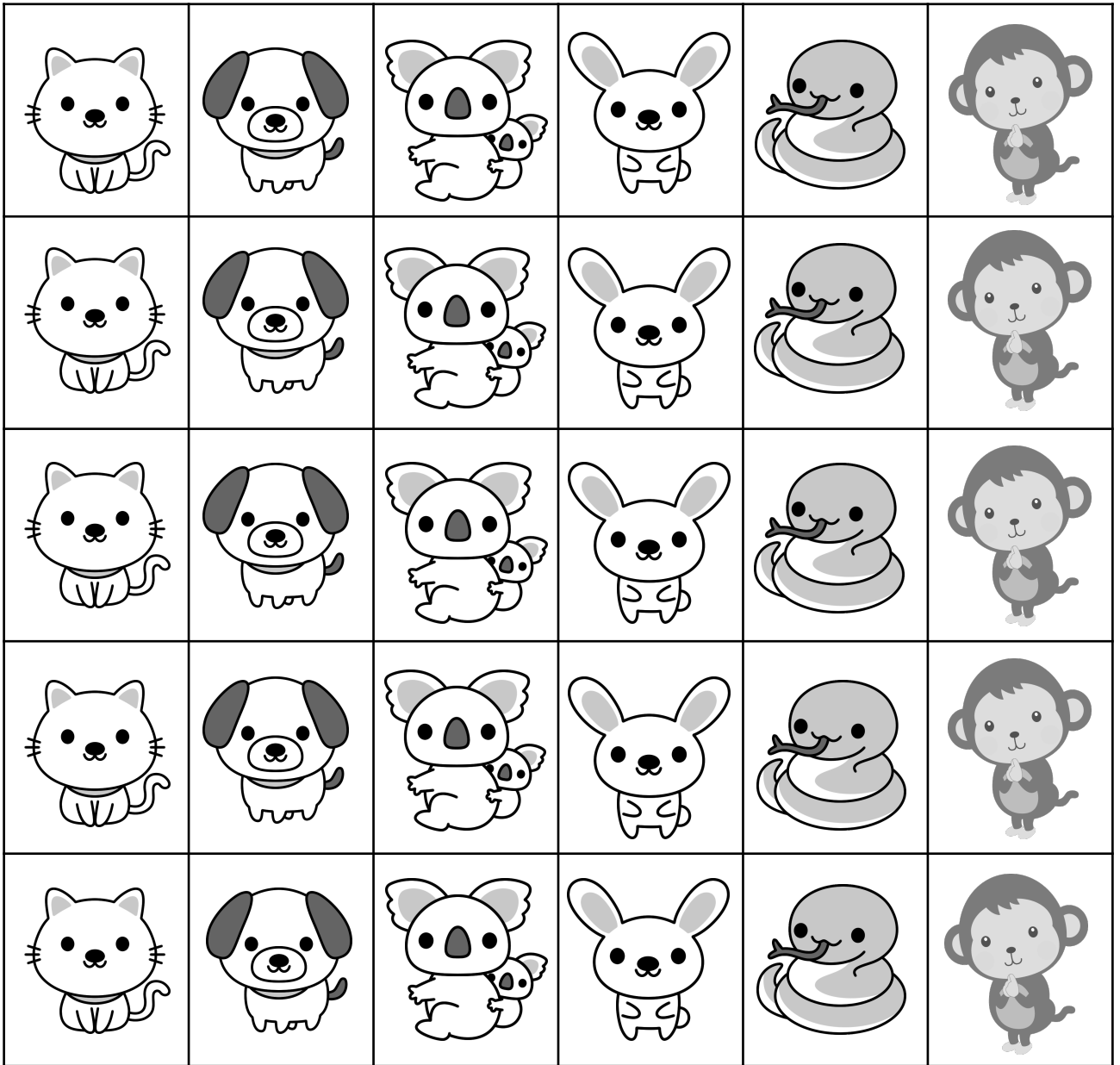
Name _____



- 【ルール】 ①子供達にこの上の「とく点カード」1枚と「動物カード」を配ります。「動物カード」はランダムに配り、誰が何を持っているのか分からないようにします。②自由に歩き回り「Do you like snakes?」のように尋ねます。③相手の子はもしも「Snakeカード」を持っていれば「Yes, I do.」(I like snakes.)と答えます。持っていなければ「No, I don't.」(Sorry.)と答えます。④もしも、相手が「Yes」だった場合、自分の「とく点カード」のSnakeの上の四角に○を書きます。今度は相手が同様に尋ねます。⑤全部丸がついた人が勝ちになります。あるいは時間内に一番丸のついた子の勝ちです。

Unit4 「I like」ゲーム用カード

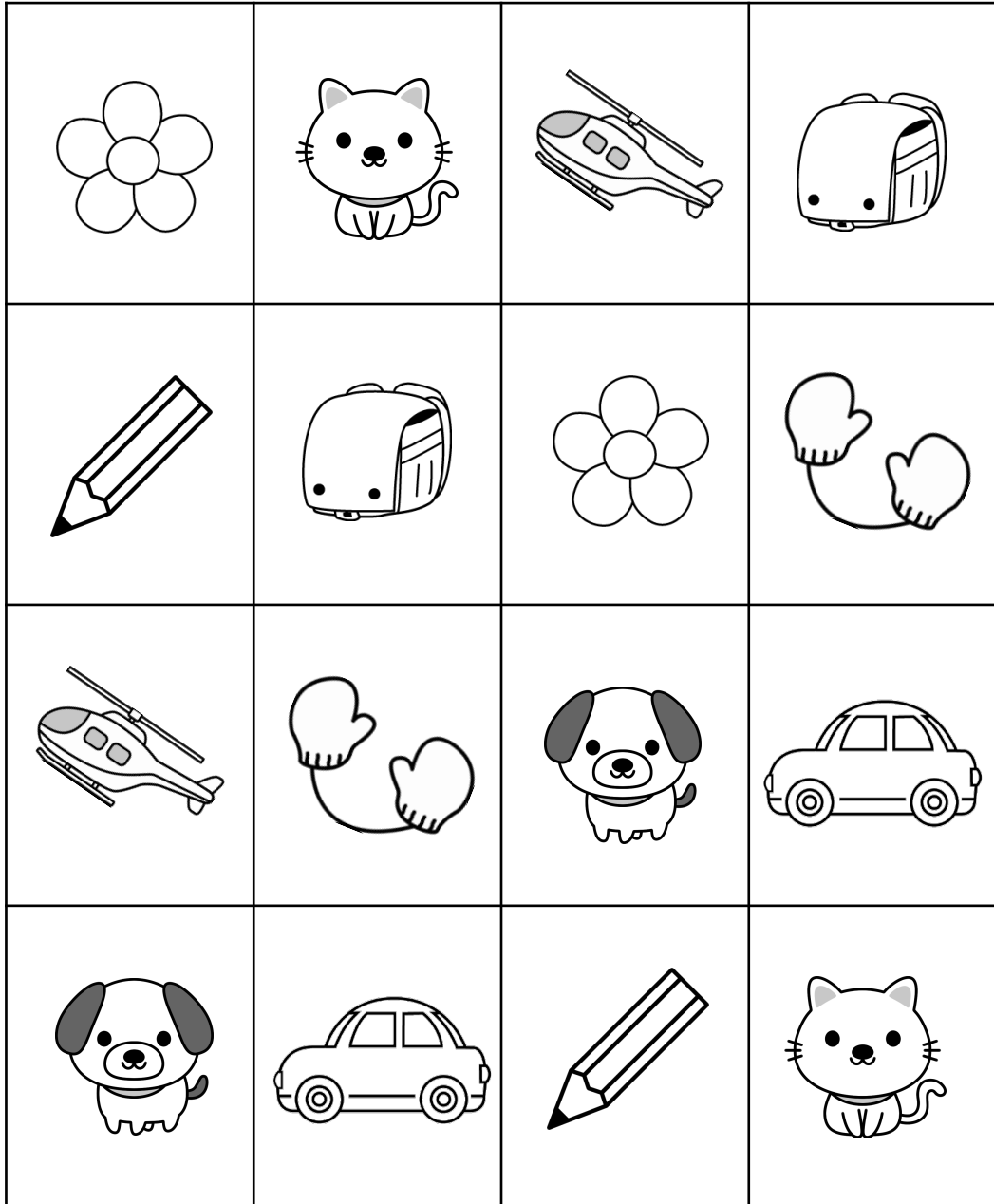
Name _____



Unit5 「What do you like?」カラービンゴ

Name _____

赤・青・黄色の色えんぴつを用意しましょう。



- 【ルール】 ①ビンゴゲームです。教師と全員で行います。まず、赤・青・黄色の3色を使って1イラスト1色でぬらせます。同じものを同じ色でぬらないようにします。②全員がぬり終えたところで、全員が教師に尋ねます。「What do you like?」③教師は色付きで答えます。「I like a blue cat.」④この場合「Blue cat」...ネコを青くぬった子はそこに丸をつけます。⑤以下、通常のビンゴゲーム同様に進めます。

- 【別展開】好きなカードを一枚選んで切り離し「なんでもバスケット」もできます。全員で「What do you like?」と言います。答える子は輪の中心で、色だけ (Blue)、色と物 (Red pencil)、物だけ (Car)、組み合わせ (Cat & dog) など、答え方にバリエーションをもたせると楽しいです。時々、持っているカードを変えるといいです。

Unit6 「ALPHABET」神経衰弱①

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

エー

ビー

シー

ディー

イー

エフ

ジー

エイチ

アイ

ジェー


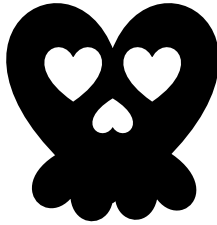
ケー

エル


Unit6 「ALPHABET」神経衰弱②

M	N	O	P	Q
R	S	T	U	V
W	X		エム	エヌ
オー	ピー	キュー	アール	エス
ティー	ユー	ブイ	ダブリュー	エックス

Unit6 「ALPHABET」神経衰弱③

Y	Z		ワイ	ゼット
				

アルファベット表

A	B	C	D	E	F	G	H	I
エー	ビー	シー	ディー	イー	エフ	ジー	エイチ	アイ
J	K	L	M	N	O	P	Q	R
ジェー	ケー	エル	エム	エヌ	オー	ピー	キュー	アール
S	T	U	V	W	X	Y	Z	
エス	ティー	ユー	ブイ	ダブルユー	エックス	ワイ	ゼット	ハート ドクロ

- 【ルール】 ①切り取ってカードにします。②人数は3～4人がいいでしょう。ただし、人数によっては使用するカードの数を半分にするなど工夫してください。③トランプの神経衰弱と同じルールです。ただし、アルファベットカードと読み方カードは分けて置いておき、それぞれのエリアから1枚ずつめくるようにします。④「A」と「エー」のようにアルファベットと読み方をめくれば取れます。⑤めくったカードは必ず発音しなければいけません。発音しなかったことを相手に指摘された子はカードが正しくても取れません。⑥取れた子は取れなくなるまでカードを続けてめくることができます。⑦「ハートドクロ」は使わなくてもいいですが、例えば、2枚めくってしまったら「失格」にするとか「持っているカードを全部（一部）出す」など、罰則を考えてみましょう。